

雪に備える

晩秋から初冬にかけて、晴れたかと思うと曇り、雨が降る、降ったかと思うとまた晴れるという空模様が見られるようになります。このような雨を「時雨（しぐれ）」といいます。北西の季節風が吹き、日本海上で発生した積雲が次々と日本海側に達すると「時雨」が降り、雲が通り過ぎるとまた晴れるからです。宗谷地方では9月から11月にだんだんと雨の量、日数も多くなります。



【雪の降る条件】

雨になるか雪になるかの目安のひとつに地上の気温があります。一般に地上の気温4℃が目安となっており、2~4℃のときには「みぞれ」、4℃以上のときには雨になるようです。ちなみに「みぞれ」とは、雨と雪が同時に降る現象で、雪に分類されます。したがって、初冬に初めてみぞれが降った場合、初雪と記録されます。雨になるか、雪になるかを予想するためには、地上の気温のほかに、上空約5000メートルの気温の様子などを検討します。雨になるか、雪になるかは予報官の頭を悩ませます。稚内の初雪の平年値は10月22日です。

【北海道の雪】

北海道地方で降る雪には、日本海側で降る「季節風型」と道東・道南を中心に降る「低気圧型」があります。「季節風型」では、北西の季節風が吹く時に日本海側を中心に雪が降り、「吹雪」になることがあります。季節風が弱まると石狩湾に小さな低気圧が発生し、石狩平野や後志の内陸に大雪を降らせることがあります。この時には、乾いた粉雪となります。外出の際には、最新の気象情報を聞いて、早めの冬支度をしましょう。

【クイズです】

気象台では初雪を観測していますが、この中で観測（見ても）しても初雪としないものはどれでしょう。

- ①みぞれ ②ふぶき ③細氷（さいひょう）④氷あられ



答え ④

「みぞれ」は雪と雨が同時に降る現象、「吹雪」は降ってくる雪や地上から舞い上げられた雪が激しい風で乱れ飛ぶ状態、「細氷」はダイヤモンドダストとも呼ばれ約-15℃以下のとき微小な氷の結晶が大気中を落下したり浮遊したりすることをいいます。「氷あられ」は、一般には透明で気温が0℃以上の初冬に降りますが、夏でも降るときがあります。したがって、④が答えとなります。

問い合わせ先 稚内地方気象台防災業務課(電話:0162-23-2679)
稚内地方気象台HP [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html)

ほろのベウオーキングラリーの
完走者を紹介します！

栄 町 小西 清子 さん

(8月10日到達)

5条南1 中山 悟 さん

(10月1日到達)

10月31日で今年度のラリーは終了しました。百万歩に到達した方も、しなかつた方も終了アンケートを提出してください。記念品を用意して報告をお待ちしています。

九月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

失ないし物に未練や秋の風

藤岡 芙美

ひとり身にそつと訪う秋の風

富樫とも子

秋の風老体少し絞まりしか

横山 貞雄

ブランコのひとり揺れいる秋の風

熊谷千恵子

秋風が頬撫でてゆく微酔の歩

田中 徹男